

山口県 人・農地プラン作成事例

山口市

ほ場整備を契機に集落営農法人に農地を集積して将来安心！

プラン名	二島西地区（上ヶ田、大里、二島集落）人・農地プラン
プラン範囲	山口市 二島西地区 該当集落（上ヶ田、大里、二島）
プラン決定日	平成 24 年 6 月 22 日
中心経営体	農事組合法人二島西（構成員 145 人） 農地集積面積：現状（H23）51.66ha、将来（H28）75.68ha 農地集積率：51.2%
連携農業者	1 人、提供予定農地面積 1.15ha、その他農業者 35 戸、提供予定面積 22.87ha
今後の地域農業のあり方	複合化、ｺﾓｯﾄ：（農）二島西は、構成員（ﾘﾌｲ農家等）から農地を集積し、土地利用型作物並びに野菜栽培の経営規模拡大を図る予定。100ha 規模の経営を目指しています。

1 取組経緯

- ◆ 当該地区では、ほ場整備事業を実施中であり、今後数年は面工事が継続する予定
- ◆ ほ場整備を契機として集落営農法人が設立されている。
法人の今後の経営安定に資するため、人・農地プランの作成をすることにした。

2 プランの特徴等

- 今後、ほ場整備事業の面工事の終了に伴い、プラン範囲を拡大する予定としている。
- 中心経営体は、現時点では法人 1 つのみだが、プラン範囲の拡大に伴い、認定農業者等も中心経営体に位置付けていく予定
- 農地の出し手の多くは、農地集積協力金の対象要件を満たさなかった。

3 プランの取組効果

- ◇ 規模拡大加算 24ha。農地集積協力金 1 人
- ◇ 規模拡大加算分を活用して機械器具等の整備を行う予定である。



飼料用米直播作業



法人設立総会の様子（H20.11）